

令和3年11月19日(金)
宮城労働局職業安定部職業安定課
職業安定課長 立花 真 寿
職業安定課長補佐 佐藤 雅 彦
電話 022(299)8061

報道関係者各位

ー ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組について ー

厚生労働省では、全国のハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価を行い、サービスの質の向上を図るとともに、就職支援の強化に取り組んでまいりました。

宮城労働局管内のハローワークにおける、令和2年度の総合評価結果は以下のとおりとなりました。

なお、重点的に取り組んだ事項、指標ごとの実績及び目標達成状況については、「就職支援業務報告」(別添P1～P17参照)のとおりです。

今年度におきましても、継続的な業務改善に取り組み、求人者・求職者サービスの向上に努めてまいります。

◎各ハローワークのマッチング総合評価結果

グループ ^(注)	ハローワーク名	総合評価
1	ハローワーク 仙台	標準的な成果
5	ハローワーク 石巻	標準的な成果
6	ハローワーク 塩釜	標準的な成果
8	ハローワーク 古川	標準的な成果
7	ハローワーク 大河原	標準的な成果
9	ハローワーク 築館	標準的な成果
10	ハローワーク 迫	標準的な成果
	ハローワーク 気仙沼	標準的な成果

(注1) グループについては、労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを厚生労働省において11グループに分類している。

(注2) 令和2年度評価結果については、新型コロナウイルス感染症の影響下の結果であることにご留意ください。

ハローワーク仙台 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び充足件数の目標達成を最重要と考え、コロナ禍にあつて不安を抱えた求人・求職者の方に寄り添った相談を心がけるとともに、担当者制予約相談、各種セミナーの開催など各種の再就職支援メニューの積極的な展開を図りました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、新規求職者および新規求人ともに減少が続き、さらには、感染防止のため来所を控えたいとする求職者の方もいらっしゃいました。このため、電話による職業相談や通信紹介などの就職支援サービスを新たに行い、利用者の就職活動を支援する取り組みを行いました。

また、面接会や各種イベント等についても、感染防止対策を十分に行い、参加人数を限定するなど感染防止対策を徹底し実施しました。

さらに、令和2年度から、就職氷河期世代の不安定就労者、無業者等の就職支援のため「就職氷河期世代支援コーナー」を設置し、専任担当者による担当者制予約相談、面接会や各種セミナー、職業訓練の案内など正社員を目指す就職氷河期世代求職者の支援を行いました。この結果710件の正社員就職につながりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の資質向上に向けて、各部門責任者による日常的な個別助言・指導に努めると共に、職業相談技法の向上を目的として職業紹介業務担当者を対象とした「事例検討」研修を実施しました。職員・相談員が実際窓口で相談した事例を参考にして意見交換を行うことで、今後の職業相談に活用できる知識を習得し専門性を高める効果が期待できる取組となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人充足促進のため、「求人部門発 重点支援対象求人 おすすめ求人」として、求人票に記載されていない内容を求人担当者から確認し、プラスαメモとして職業紹介部門へ情報提供する等の改善を行いました。この求人を基に、希望条件に該当しそうな求職者に確実に情報提供出来るようになりました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の感染防止を意識しながら、ハローワーク利用者の満足度を高めるためには、相談技法の向上や的確なマッチングなどの支援サービスが増々重要となるため、システム刷新後の求人者マイページ・求職者マイページの機能等を活用した、スピーディーな求人情報提供・オンライン紹介の実施など更なる充実、強化に取り組めます。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により新規求職者の相談が減少しましたが、高齢者の利用は増加傾向となっているため、生涯現役窓口利用者を対象とした、「高齢者の応募を歓迎する求人」の確保とマッチングを進めるため「高齢者のためのセミナー」の開催などに取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	①障害者の 就職件数	②就職支援 ナビゲーター の支援による 正社員就職 件数	③紹介によ り正規雇用 に結びつい た氷河期世 代の件数	④紹介によ り正規雇用 に結びつい たフリータ 一等の件数	⑤マザーズ ハローワー ク事業にお ける重点支 援対象者 の就職率	⑥正社員 求人数	⑦正社員 就職件数	⑧人材不 足分野の 就職件数	⑨生涯現役 支援窓口で の65歳以上 の就職件数
実績	11,196	13,651	4,805	122.1%	926	3,194	710	968	94.0%	55,006	5,004	2,848	331
目標	12,513	16,100	5,492	135.0%	958	3,284	757	1,742	93.4%	61,023	5,430	3,148	331
目標達成率	89%	84%	87%	90%	98%	97%	93%	55%	100%	90%	92%	90%	100%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク石巻 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、特に支援が必要といわれている「建設」「医療・福祉」「保育」「警備」に加え、地域の基幹産業である「水産加工」などの分野に対する人材確保の支援を重点的に進めることとし、求職者に対する求職条件の緩和などの働きかけ、地域の潜在求職者の掘り起こし、自治体等と連携による地域の雇用対策などに取り組みました。

具体的には、仕事の内容や実際の職場のようすを理解してもらうため職場見学会を6回開催し、14人の求職者が参加しました。また、自治体との共催により合同企業説明会を8回開催し、65事業所と求職者237人が参加しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の資質向上のために、若手職員を中心に上記見学会・面接会への積極的な参加や、雇用管理改善、働き方改革関連法に関する研修等、業務に役立つと思われる研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職場見学会の開催については、「医療・福祉」の職場においては感染予防に対して一層の配慮が必要であることなど、開催に当たって受け入れ可能な事業所が少なかったことから、自治体との連携による合同企業説明会を中心に開催するなどしました。新型コロナウイルス感染症の拡大による制約を受ける中で、事業所と求職者が接触出来る貴重な機会であるとの評価をいただきました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

職場見学会や合同企業説明会の開催に当たっては、参加事業所数や参加求職者数の制限、会場の確保など、感染予防に対する配慮等についてのノウハウを得たことから、令和3年度についても感染の拡大の状況に合わせ、事業所と求職者のマッチングに役立つサービスを模索していきます。また、所独自の求職者を対象とした再就職支援のためのセミナーの開催することとしております。求職者の減少が続いている中で、地域の潜在求職者の掘り起こしなど、自治体と連携した雇用対策に取り組みます。また、令和2年度に刷新されたハローワークシステムを活用し、求職者の来所を要しない職業相談や職業紹介に取り組みます。そのため、新たなサービスであるマイページについて求人者及び求職者の登録の促進を図ります。

(4) その他業務運営についての分析

前年度より発生した新型コロナウイルス感染症により、2年度においては、年度前半は雇用調整助成金や緊急雇用安定助成金など、企業の雇用維持のための施策に注力しました。引き続き企業の人材確保や、求職者の早期再就職と同様に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職氷 河期世代の不 安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件 数	生活保護受給 者等の就職件 数	公的職業訓練 修了3ヶ月後の 就職件数
実績	3,219	3,119	832	125.2%	83	10,360	1,701	118	31
目標	3,630	3,323	935	131.5%	149	10,075	1,661	94	30
目標達成率	88%	93%	88%	95%	55%	102%	102%	125%	103%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク塩釜 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、コロナ感染症拡大防止対策の徹底を講じた上でのコロナ感染症に影響を受けた労働者の雇用の維持・安定及び失業を余儀なくされた求職者への就職支援を重点課題と位置付け、雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金等のコロナ感染症の影響を受けた事業主等に対する各種助成金の早期支給と関連する支援制度の周知、求人・求職のマッチングの効果的な推進、職業訓練の積極的な受講勧奨等に取り組みました。

求人事業所への充足支援サービスとして、マッチングに向けた求職者情報の提供・求人条件見直しの提案・職業相談窓口における応募勧奨を行いました。

求職者への就職支援サービスとして、新たな知識・技能・資格の習得に向けた職業訓練の受講勧奨、求職条件に応じた求人情報の提供、きめ細やかな職業相談等に取り組みました。

上期については、人手不足分野の職種を中心に開催してきたセミナー、企業の人事担当者が直接求職者に求人条件や会社の特徴等を説明できる求人事業所説明会等が、コロナ感染症まん延の影響から中止となってしまいました。

下期については、コロナ感染症が落ち着いた11月～2月に3回の面接会を開催して、85人の参加者に対して11人が採用されました。また、11月～3月に3回の求人事業所説明会を開催して、11社の参加があり、企業担当者・求職者共に、「求職者からいろんな話を聞くことが出来た。」、「面接会ではなく説明会という形式のため、安心して人事担当者といろいろな話しをすることが出来た。」等のお声をいただいております。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、50歳以上の幹部職員の下は30歳代の一般職員となっており中堅層は存在しませんが、職業相談における一定の水準を保つために、日々の業務の中で「上司は部下の仕事に目を配り的確な助言を行い」、「部下は何かわからないことがあれば即座に上司に確認し」、報告・連絡・相談を自然に行える風土を創り上げることでスキルとキャリアの違い、年齢ギャップを埋めることを所内の目標として取り組んできました。それにより、幹部職員の持っている知識、技能、経験を若手職員に伝えることが出来ました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

これまでと同様に、ハローワークの業務を知ってもらうため、ハローワーク案内メニューを活用し、窓口において広報周知を強化すると共に、窓口相談を希望しない求職者の方々への周知広報のため、求人検索機にイベント情報を掲載しました。また、待合コーナーのモニター活用したハローワークの案内画像を放映する等の周知・PRを行いました。同様の取り組みを継続することにより、周知内容の充実が可能となり、より効果的な周知広報に取り組むことが出来ました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人数が大幅に減少したものの、就職氷河期世代の不安定就労者の正社員就職数については、本人の希望に寄り添ったきめ細やかな相談を行っていくことで、目標を大きく上回ることが出来ました。

生活保護受給者等についても、自治体への定期的な巡回相談や訓練機関との支援会議を年間60回実施したことで、支援対象者数及び就職数共、目標を大きく上回ることが出来ました。就職後のフォローアップとして、電話・郵送により就職後の状況を確認しており、令和3年度も引続きこの取り組みを継続し、効果的なマッチングとなるよう努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

コロナ禍により日本三景松島を代表とする観光産業関連業種からの求人が激減したことから、求人確保が所として取り組むべき重要な課題となっております。とりわけ正社員求人及び就職氷河期世代求人の確保による就職促進が重要となっております。更に、当所管内求職者のうち割合の多いパートや高齢者の求人確保についても同様に取り組めます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワーク紹介に よる就職氷河期世 代の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等の 就職件数
実績	1,896	1,430	688	114.7%	189	4,787	896	101
目標	2,145	1,470	740	131.9%	109	4,858	973	91
目標達成率	88%	97%	92%	86%	173%	98%	92%	110%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク古川 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・当所では、「就職件数」「充足数」の目標達成を最重要と考え、よりマッチングの数を増やすため、職業相談時には当所作成の「ハローワーク活用ガイド」により支援メニューをご案内しながら、各求職者の方のニーズを的確に把握することを心がけ、丁寧な職業相談を行ってまいりました。また、支援を必要とする方には求職者担当者制の実施や、雇用保険受給者の方に対してはすべての認定日に職業相談を行っていただくことにより早期就職を目指しました。
- ・当所においては65歳以上における就職率の低下が課題となっているため、生涯現役窓口における高年齢者のマッチング対策として、過去に高年齢者の採用実績のある事業所の求人にも独自のコードを設定し、職業相談の際には独自コードを使用した、より就職に繋がる可能性の高い情報提供を行えるようにすることで効果的なマッチングを目指しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・障害者就職面接会についての新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、従来、合同面接会として開催していたものを、1社ずつ8回に分けて開催しました。また、相談窓口の対策としては、待合で来所者が密にならないようにマイカーでの待機を可能とし、待合の混雑解消に努めました。
- ・雇用調整助成金の申請受理について、申請数が増加した時期については受理窓口を増設し、事業所支援アドバイザー2名を配置して対応したことで、窓口の混雑解消と業務の効率化を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野（警備、看護、介護、建設、保育、運輸）の事業所支援については、PRの場として事業所説明会を開催しておりますが、令和2年度上半期については、新型コロナウイルスの影響により、事業所説明会の開催が十分にできなかったことから、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行ったうえで、より多くの求職者の方にPRできる場を提供できるよう、改善を図ることとします。

(4) その他業務運営についての分析等

ハローワーク古川においては、65歳以上の求職者の方の約65%がパート就労を希望している一方で、パート求人が昨年続き今年度も減少してしまったことから、引き続きパート求人確保が当所における課題となっています。そのため、正社員求人の確保と併せ、パート求人の確保についても積極的に取り組む必要があり、高年齢者の就職促進を図ることで、全体の就職率の改善を目指します。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者の件数	正社員求人数	正社員 就職件数	公的職業訓練 修了後3ヶ月の 就職件数
実績	2,445	2,185	719	104.8%	100	6,122	1,171	114
目標	2,930	2,524	887	126.8%	123	6,430	1,296	101
目標達成率	83%	86%	81%	82%	81%	95%	90%	112%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大河原 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

各指標に対する取組

生活保護受給者や生活困窮者の支援を重点的に取り組みました。大河原所管内では、窓口での相談の他、コロナ禍の中、管内3町（柴田町、丸森町、川崎町）で実施してきた月1回の出張相談についても継続して実施し合計35回実施しました。白石出張所管内では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より白石市から出張相談中止の要請があり開催できませんでした。このため、白石市・福祉事務所と連携を密にし、ハローワークへ誘導してもらい支援を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮者の相談が増加しており、出張相談の取組については、利用者から「出張相談をきっかけとしてハローワークに登録し、就職が出来ました」などの評価をいただいております。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

所内掲示物の展示方法を整理し、「福祉関係情報コーナー」「わかもの・就職氷河期世代コーナー」「生涯現役支援コーナー」「職業訓練情報コーナー」を新設し、案内リーフレット、出張相談・面談会の案内を配架しました。

また、正社員求人への転換が可能と思われる求人について、求人・求職バランスシート等の資料を活用し、正社員募集のメリット等の説明を行い正社員求人への切り替え助言を行い、正社員求人の量的確保を目指しました。白石出張所では前年度実施した求人者・求職者アンケート結果や賃金情報等の資料を活用し、労働市場を説明しながら、条件緩和や正社員求人の提案を行いました。以上により目標数より149数多く正社員求人が確保できました。

今後もできるだけ多くの正社員求人を受理出来るようにいたします。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、しごとのミニ相談会は開催出来ませんでした。求人事業所から個別の相談会実施の要望や雇用保険受給者の求職活動実績になり、採用につながるミニ相談会を感染症発生状況を踏まえ、令和3年度からは感染対策を講じてより多くの求職者の皆様に参加していただけるよう開催をしていきます。出張所とも連携し、ミニ相談会の情報共有をしていきます。

また、令和3年度からは、新たにイベントカレンダーを作成し、相談会の周知を求職者の皆様に開始する予定です。この取組により、参加者の増加の効果を見込みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	①生活保護受 給者等の就職 件数	④ハローワーク の職業紹介によ り正社員に結び ついた就職氷河 期世代の不安 定就労者・無業 者の件数	⑧正社員求人 数	⑨正社員就職 件数
実績	2,314	1,495	694	122.0%	137	159	4,711	1,145
目標	2,554	1,627	833	122.6%	92	174	4,562	1,226
目標達成率	90%	91%	83%	99%	148%	91%	103%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク築館 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が減少している中でも、管内の主要産業である製造業が比較的好調な業績であることから、有効求人倍率が県内他所と比較すると高い状況となっている。そのような状況を受け、求人充足数の目標達成が最重要と考え、求人事業所への理解度を高める取組として事業所説明会や見学会の開催、求人事業所を訪問し、「魅力ある職場づくり」の提案、求人担当制による求人充足に取り組むこととしましたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じる必要から、回数や規模を縮小して実施することとなりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、PDCAサイクルによる業務改善研修、職業相談技法・日本版O-NETに関する研修、職業相談技法の向上を目的とした模擬面接技法研修を実施することで、職員の資質向上に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規高等学校卒業予定者に対する就職支援として、栗原市及び栗原市企業連絡協議会と共催で、夏・冬の2回企業説明会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策から、夏の開催を断念し、代替措置としてY o u T u b eを活用し、各企業のPR動画を配信する形式に変更し実施しました。生徒だけでなく、保護者も視聴することで理解が進んだケースがあったという学校からの声もありました。冬は例年通り開催しましたが、学校ごとに時間を区切り、各ブースをビニールシートで仕切る感染防止対策を実施し開催しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、各種イベントの開催を見送ったり、内容を変更して取り組んだり、手探りで業務を進めてきました。令和3年度は、今までの経験を生かして、感染防止の徹底に留意しながら、事業所の理解を深め、人手不足の解消につながる事業所説明会の開催回数を増やすよう取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和2年度は新規求人数が、対前年同月比で前年から19ヶ月連続で減少していましたが、令和3年1月に増加に転じることとなりました。前年から引き続いていた米中貿易戦争に加え、新型コロナウイルス感染症により減少傾向にありましたが、管内の主要産業である製造業のうち自動車関連事業所が、新型車効果により増産に入ったことによる求人増の影響とみられます。一方で、栗原市は、県内の市で一番高齢化率が高く、人口減少が進んでいる地域であることから、求職者の減少傾向は続いています。今後は、事業所の理解を深めるための事業所説明会の開催、魅力ある求人の確保、正社員求人確保により正社員就職の確保、求人充足の増加を目指します。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	紹介により正規 雇用に結びつい た氷河期世代	正社員求人数	正社員就職件数
実績	901	1,019	239	98.7%	67	3,548	472
目標	1,112	1,280	295	107.0%	68	3,240	510
目標達成率	81%	79%	81%	92%	98%	109%	92%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、前年度からの経済情勢の影響等に加え、コロナ禍がさらに大きく影響し、求人数が激減したことで有効求人倍率が低下し1倍を大幅に下回る状況となりました。

一方、求職者数は、やや減少傾向にあることを踏まえて、正社員等の魅力ある求人の確保に重点を置き、取り組んできました。

その中で、就職件数（正社員就職件数含む）および求人充足数の目標値達成を目指し、コロナ禍により対面による接触が制約される中、代替策として事業所への電話等での積極的なアプローチによる求人確保、及び様々な機会を活用した求職者への提案型マッチングに取り組んできました。

さらには、年々求職者全体に占める割合が増加している高年齢者の就職促進のために、当該求職者が応募しやすい求人の確保に取り組み、「高年齢者応募歓迎求人」等と表記のうえ、分かりやすい情報提供及びマッチングに取り組みました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

若手職員及び非常勤職員に対し、OJTによる研修のほか、行政経験が豊富な再任用職員等を講師とした研修に取り組みました。

このことにより、職員ひとり一人の職業紹介業務のスキルの底上げを図り、求職者の早期再就職のための支援につなげてきました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者向けの「再就職の希望に関するアンケート」を活用し、求職活動の進め方や必要とする情報の的確な把握に努め、コロナ禍で接触の機会が制約される状況下において、郵送・電話等の代替策による積極的な求人情報提供、及び所内掲示スペースの整備により分かりやすい求人関連情報の提供に取り組みました。

所内掲示スペースの整備の一例としては、人手不足業種・職種である介護・福祉関連の求人情報や業界情報に触れていただき、これらの情報に関心・興味を持ってもらうための環境づくりに取り組みました。幅広い人材の確保につなげるという趣旨によるものです。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者に対する求人のマッチング（紹介）割合は高い状況にあるが、コロナ禍の影響下でも求職者がやや減少傾向にあること、及び求職者に占める中高年齢者層の割合が増加していること等を主な要因として、就職件数が伸びていない状況にあります。

このことを踏まえ、求職者担当制の就職支援対象者を幅広くに選定し、かつ支援メニューを充実させることが課題と捉えています。

具体的な方策としては、ハローワークシステムの刷新による機能向上の効果を最大限に活かすために、求職者・求人者マイページの周知及び登録勧奨をすすめ、利用者との接触手段の多様化及び利便性の向上を図り、マッチング効果と精度を高めていくこととします。

(4) その他業務運営についての分析等

1年間を通じ、コロナ禍の影響が大きく様々な制約があり、イベントやセミナー等予定した取り組みの大半が実施できずに、かつてない困難な業務運営となりました。この状況下で、感染予防対策を最優先として利用者にどのようにアプローチすれば良いかを検討し、窓口での対応を主体としつつ、郵送・電話等をはじめ様々なアプローチ手段を駆使し、職業紹介業務の推進に取り組んできました。

また、自治体との連携を図る中で、企業ガイダンス等のイベントの代替策（自治体ホームページを活用した動画による企業情報の発信等）に取り組む、新卒者や若年者等の管内事業所への就職を促進することができました。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	正社員求人数	正社員 就職件数
実績	1,417	1,114	333	113.3%	119	2,556	717
目標	1,591	1,226	460	119.7%	93	2,464	751
目標達成率	89%	90%	72%	94%	127%	103%	95%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク気仙沼 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数、特に正社員就職件数の目標達成を最重要と考え、重点的に取り組みを進めました。

当所においては、建設、介護、水産加工業等の有効求人倍率が高い数値で推移しており、人材確保に向けた取り組みが喫緊の課題であることから、求人申込みや未充足となった求人の更新依頼があった際、事業所に対して相談窓口で収集した求職者の応募希望条件等を説明し、求人内容の見直しや求人要件緩和等の働きかけを行い、早期に充足が見込める正社員求人の確保に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により11月以降の開催となりましたが、当該業種を中心とした「ミニ企業説明会」の開催によりマッチングの促進を図りました。「ミニ企業説明会」の開催までの間は、相談窓口において求職者の要望を踏まえた求人事業所に対する職場見学受け入れの働きかけや、求職者に対する求人情報の提供等による就職意欲の喚起、来所した求職者等に対するフォローアップ等、個別支援により人材確保に向け取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

円滑・適正な業務運営を行うため、各課・部門間の連携、情報の共有を徹底しました。

的確な業務の実施に向け、基本業務の徹底に取り組みました。

行政文書及び保有個人情報の厳正な管理を行うため所内研修を実施し、適正な事務処理、基本動作の徹底を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所の管轄区域である南三陸町は、東日本大震災で工場等が大きな被害を受けましたが、新工場の建設や商店街の移転等も一段落したことから、南三陸町に居住する求職者の利便性を考慮し、南三陸町、南三陸町商工会及び南三陸町無料職業紹介所並び多くの住民の移転先を管轄する迫所と連携を図り、今年度初めて企業説明会を企画・開催しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当面は新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、人材不足分野の事業所を中心とした「ミニ企業説明会」の開催、「職場見学会」

の実施や参加後の窓口誘導など応募につながる積極的な支援に取り組みます。

コロナ禍における円滑な業務運営及び感染拡大の防止の観点から、事業所並びに求職者に対する電話による相談、電子申請・郵送による届出・申請や求人・求職者マイページ等の積極的活用勧奨に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和2年度は、当所管内の主要産業である水産加工、宿泊・観光業等が新型コロナウイルス感染症の感染拡大による「需要の停滞」等により大打撃を受け、他の産業も含めた多くの管内事業所が雇用調整助成金の申請を行っている状況です。管内の労働市場は停滞していますが、重点的に取り組みを進めた正社員就職件数は目標を達成することができました。今後も、各事業所の現況や今後の業績見込みについて積極的に情報を収集し、充足が見込める求人開拓などに取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの紹介により、 正社員に結びついた 氷河期世代の不安定就 労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,312	1,220	300	93.3%	61	3,437	621
目標	1,562	1,549	424	91.1%	40	3,300	590
目標達成率	83%	78%	70%	102%	152%	104%	105%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率